わが町わが村 ふるさと自慢

日本の春は、この町の野焼きから。

――阿蘇郡一の宮町

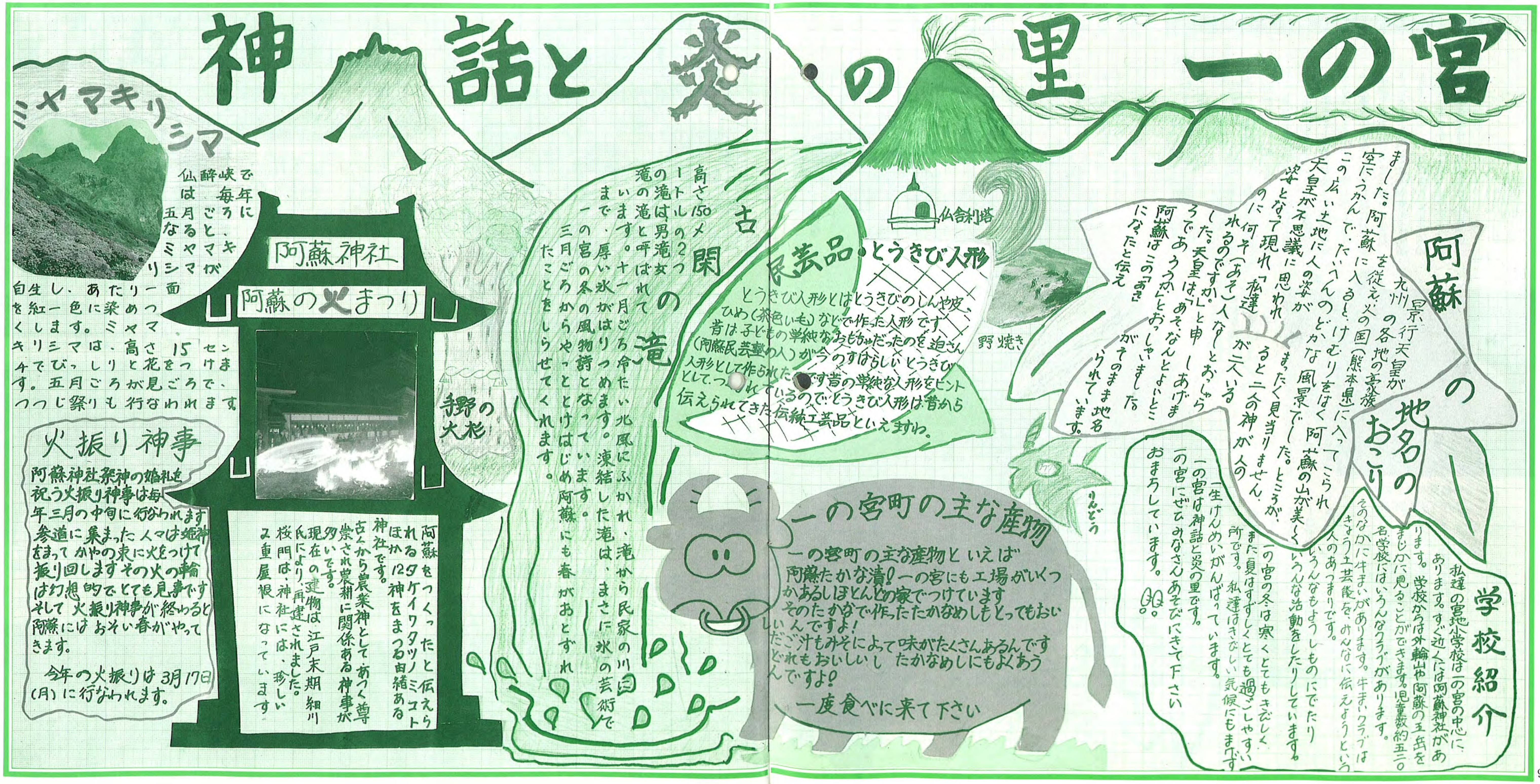
町の中心にある阿蘇神社には、昔、阿蘇谷が湖であった当時、湖水の水を切って落し、美田を開いたと言い伝えられる健磐龍命（たけいわたつのみこと）が祭られています。これは、この土地が古くから阿蘇谷の中心地であったことを示しています。

北には、「国造神社」境内に、樹齢二千年という天然記念物「手野の大杉」、南には、ミヤマキリシマの名所・仙酔峡と、天然の観光資源に恵まれた所でもあります。

毎年、三月には、〝火振り〟で有名な春祭りが阿蘇神社で開かれます。町をぐるっと囲む広大な原野では、害虫を駆除するための野焼きが古くから人々の生活行事として行われてきました。昨年からは、各地でバラバラに行われていたこの行事を〝阿蘇の火まつり〟と銘打って一つにまとめ日本列島に春を告げる一大ページェントに仕立て上げました。阿蘇の広大な原野に繰り広げられるこの野焼きは、奈良の若草山の野焼きや京都の大文字焼きをはるかに越えるスケールを誇っています。

祭りが終ると、原野には草花が芽吹き、やがて、ワラビ狩りやハイキングの人たちで賑います。

あなたも、ぜひ、春の一の宮町を訪ねてみてください。

●お問い合わせは、一の宮町役場（☎〇九六七―二―三一一一）へ

この新聞を制作した一の宮町立宮地小学校新聞クラブのみなさん